

平成 23 年度事業計画書(案)

1. 公益社団法人への移行

平成 22 年度末に提出した公益社団法人認定申請の審査を待ち、今年度本学会の活動全般の見直し、制度改革・諸規定改訂等の施行を実施し、諸事業の活発化と併せて財務の健全化を計画・推進する。

また、公益社団法人として認定されると、登記の日より 2 ヶ月以内に臨時総会を開催しなければならないため、その準備をすすめる。

2. 本学会創立 60 周年の記念事業の実施

本年度は本学会創立 60 周年にあたるため、下記の記念事業を企画推進する。

また、記念式典を、平成 23 年 11 月 18 日（金）に東京大学安田講堂他で開催する。

- ・メインテーマ：「過去を振り返り、未来を見据える」
- ・記念式典・シンポジウム・交流会の開催
- ・機関誌「都市計画」60 周年記念号の刊行
- ・(仮称)「日本の都市計画 60 選」の記念出版
- ・学生提案競技「大宮駅東口地域：人の流れを生み出すおもてなし空間の創出」の実施
- ・自治体まちづくりグッズ賞の選考・表彰
- ・記念学術シンポジウムの開催（学術研究論文発表会時）

3. 東日本大震災復興に関する事業の実施

○新たに設置した防災・復興問題研究特別委員会を中心に、研究活動・支援活動を迅速に展開する。

○機関誌「都市計画」東日本大震災緊急特集号を刊行する。

○東日本大震災「緊急連続まちづくり懇話会」を実施する。

○下記 5 の研究交流組織への助成について、特別委員会でテーマを設定のうえ、応募を募ることも検討する。

4. 特別委員会活動の充実

防災・復興問題研究特別委員会に加えて、以下の特別委員会活動の充実を図る。

○四川大地震復旧・復興調査特別委員会

最終年度の活動となるので、現地調査・報告会等を開催し、最終報告書を作成する。

○低炭素社会実現に向けた特別委員会

低炭素都市づくりガイドブックの作成、つくばエクスプレス沿線 6 都市と協働しての実証等を行い、活動の充実を図る。

○出版特別委員会

今後の展開に向けて、創立 60 周年記念出版事業の成果を検証する。

5. 研究交流活動の充実

研究交流活動助成を推進するため、研究交流特別委員会を今後も継続して運営し、

本年度も共同研究企画・交流連携活動企画の公募を行い、研究交流組織に助成費交付を行う（10件、延べ500万円助成の計画）。

また、今までの認定組織の研究成果のフォローの充実と、成果を水平展開するためにワークショップ等の開催を更に推進する。

6. 社会的活動の充実

各支部および本部で、都市計画に関連する様々な分野（特に基礎自治体）との連携強化を図る活動を、更に積極的に展開する。

全国市長会との共催行事を、更に充実を図ったうえで今年度も継続して実施する。本学会の様々な広報活動・事業活動を充実させ、機会を捉えての学会からの発信、社会提言活動のより一層の活性化と組織充実を図る。

7. 都市計画 CPD 制度の充実

総務・企画委員会内に都市計画 CPD 活動の運営を検証するための WG を設置し、CPD 事業が成果をあげるように内容の改革充実を図り、システム再構築や各方面との提携について検討する。

8. 本学会の情報環境の整備・充実を図る

総務・企画委員会内に本学会の情報化を推進するための WG を設置し、下記事項について詳細な検討を行い、年度内に一部は実施に移し、平成 24 年度以降も順次段階的に具体化を図る。

- ・本学会ホームページの充実
- ・メールニュース配信等の新設・拡充
- ・論文等データベース
- ・都市計画論文集・都市計画報告集の公開方法の検討・実施
- ・発表会論文演題登録

9. 国際的学術交流の充実

平成 23 年 8 月 25 日（木）～27 日（土）の 3 日間にわたり韓国慶州市で、2011 年度国際都市計画シンポジウムを「Preservation of Historic City Planning」として開催する。

特別講演会の企画を推進する。

他、国外の関係学協会との学術交流を更に強力に進める。

10. 機関誌等の刊行

機関誌「都市計画」を隔月刊行（年間 6 冊、うち 1 冊は震災緊急特集号、1 冊は 60 周年記念号）する。

また都市計画論文集（CD-ROM・2 枚及び冊子 1 冊）、都市計画報告集（CD-ROM・1 枚）を刊行する。

11. 学術研究論文発表会の開催

平成 23 年 11 月 19 日（土）、20 日（日）の 2 日間にわたり、東京大学本郷キャンパス他の施設において行う。

12. 都市計画セミナーの開催

平成 24 年 1 月 17 日（火）、18 日（水）の 2 日間にわたり、早稲田大学国際会議場において行う。

13. まちづくり懇話会及び見学会の開催

外部講師による懇話会を年 3 回、及び現地見学会を年 2 回行う。

60 周年記念事業のメインテーマに沿った企画を検討、開催する。

14. 海外向け「ニュースレター」による情報発信

我国の都市計画事情を海外の関係学協会・研究機関等に紹介するとともに、相互の情報交流を目的として「CPIJ ニュースレター」をホームページ上で公開する。

15. 学会賞、功績賞・国際交流賞の選考

都市計画の論文や計画設計等の中より優秀なものを選考し学会賞を授与する。

都市計画の進歩発展に寄与するものと国際的交流に貢献したものを選考し表彰する。

16. 報奨制度の充実

年間優秀論文賞・優秀都市計画ポスター賞等の報奨制度の定着を図る。

17. 委員会活動・支部活動

本学会の事業遂行のため必要な各常置委員会活動、各支部での事業活動を積極的に行う。

各支部での研究論文発表会を、本部との連携のもとで充実させる。

関西支部は設立 20 周年を迎えるので、記念事業を計画推進する予定としている。

また、平成 23 年 10 月の発足に向けて、東北支部設置の準備を具体的に進める。